

第71回日本ウイルス学会学術集会 市民公開講座

ウイルスの共進化

— 私たちに役立つウィルス —

参加費
無料

事前参加登録
不要

昨今病原性ウイルスが多く話題になっていますが、一方で私たち人類の役に立っているウイルスも存在します。

そんな人の生活に役立つウイルスについて、お二人の先生方にご講演いただきます。

2024.

11.3 日 14:00~15:30

ウインクあいち 名古屋駅から
徒歩5分

9F 大会議室 901 〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-38

司会 **吉川 哲史** 先生
(藤田医科大学 医学部 小児科学 教授)



ウイルスは ここにもそこにも
あそこにも
— 最小生物粒子の存在意義 —

講師

長崎 慶三 先生

(高知大学理工学部門
高知大学農林海洋科学部 教授)

ウイルスと共に生きる世界

講師

本田 知之 先生

(岡山大学 学術研究院 医歯薬学域
病原ウイルス学分野 教授)

共催: 日本ウイルス学会、
藤田医科大学感染症研究センター
後援: 中日新聞社

問い合わせ先: 第71回日本ウイルス学会学術集会 運営事務局 株式会社 オフィス・テイクワン
〒461-0005 名古屋市中区東桜一丁目10番9号 栄プラザビル4-B
TEL: 052-508-8510 / FAX: 052-508-8540 E-mail: jsv71@cs-oto.com

ウイルスの共進化

— 私たちに役立つウイルス —

ウイルスは ここにもそこにも あそこにも
— 最小生物粒子の存在意義 —

長崎 慶三 先生

(高知大学理工学部門 高知大学農林海洋科学部 教授)

ウイルスといえば病気の原因、パンデミックにマスクにワクチン。

幼少の頃から誰もがそう習ってきた。

でもウイルスの殆どは実は海の中に居て、赤潮を抑えるために働いたり、

美味しい魚たちが育つよう海の栄養を調節したり。

陸上ではウイルスの感染を受けた昆虫が行動を支配されるなんて話もある。

そしてウイルスが駆動する生物進化の謎、次々見つかる物的証拠!

最小生物粒子であるウイルスの存在意義がいまキラリ注目されつつある。

ウイルスと共に生きる世界

本田 知之 先生

(岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 病原ウイルス学分野 教授)

地球上には多様なウイルスが豊富に存在しています。

ウイルスは単なる病原体とかつては見なされていましたが、近年の研究により、治療や生態系における重要な役割が明らかになってきました。

本講座では、ウイルスとの共生がもたらす恩恵やウイルスを用いた

新しい治療法の可能性について紹介し、ウイルスに対する皆さんの印象を変え、ウイルスと共に生きる世界像を共有したいと思います。